

富山県宇奈月町からのナガレタゴガエルの記録

著者	南部 久男, 荒木 克昌
雑誌名	富山市科学文化センター研究報告
号	20
ページ	113
発行年	1997-03-25
URL	http://repo.tsm.toyama.toyama.jp/?action=repository_uri&item_id=679

短 報

富山県宇奈月町からのナガレタゴガエルの記録*

南部 久男
富山市科学文化センター
〒939富山県富山市西中野町1-8-31

荒木 克昌
アースコンサル(株)
〒930-01富山市呉羽町3078-117

ナガレタゴガエルは、関東、中部、近畿地方の低山の森林帯に生息するが(前田・松井, 1989), 富山県での記録は少なく、今回、宇奈月町で確認されたので報告する。

アカガエル科 Ranidae
ナガレタゴガエル
Rana (Rana) sakuraii Matsui et Matsui, 1990

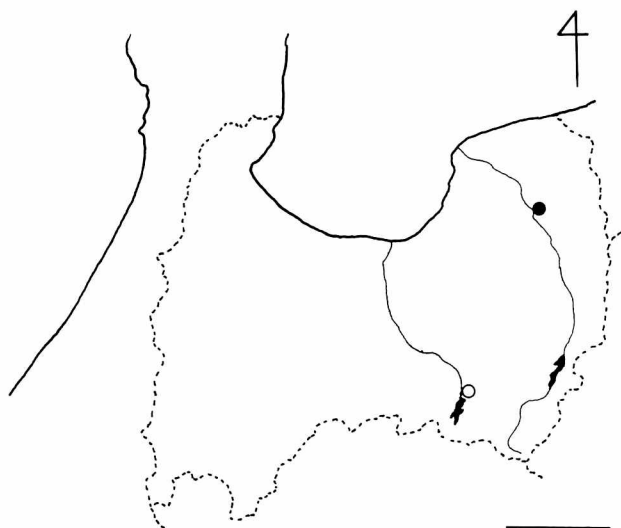


図1. 富山県におけるナガレタゴガエルの記録
●宇奈月町の新産地, ○大山町有峰の既知産地(南部ほか, 1996)。棒線は, 20 kmを示す。

標本登録番号: TOYA Am 2035 (オス)

採集年: 1995年12月1日

採集場所: 富山県宇奈月町宇奈月黒部川弥太蔵谷下流(図1)。標高220m。谷の幅約4m。底質は礫で、橋桁周辺の水深約40cmの深みで、遊泳中のところを発見された。午後3時の気温は2.2°C, 水温5.5°Cであった。

計測値: 体長49.4mm

採集者: 荒木克昌

本種の富山県での記録は、富山県西部の福光町と利賀村の標高450-1100m(湯浅, 1994; 地点は示されていない)と、富山県南部の大山町有峰東坂森谷の標高1000mの地点で、1993年10月6日に、落ち葉の下から体長39.4mmのオス1個体(TOYA Am 1879), 幼体2個体(Am 1880, 体長11.0mm; Am 1881, 体長11.7mm)が確認されている(南部ほか, 1996)。今回、県東部の山地からも確認されたことより、本種は富山県内の山地に広く生息すると推察される。今回の確認された地点の標高220mは、現在のところ富山県では、最も低い記録である。

本種は、関東、中部、近畿地方の低山の森林帯に生息し、秋期に水中の岩の下で越冬し、繁殖期に水温4°C以上になると繁殖活動が始まるらしい(前田・松井, 1989)。今回確認した例は、冬期に水中で発見されたことより、繁殖のため水中に入ったものと思われる。湯浅(1994)は、秋に採集した個体が飼育下で繁殖を行ったことを報告しているが、富山県では野外での繁殖は現在のところ確認されていない。

参考文献

- 前田憲男・松井正文, 1989. ナガレタゴガエル. 日本カエル図鑑: 68-71. 文一総合出版. 東京.
南部久男・福田保・堺康浩, 1996. 有峰の両生類, 爬虫類. 「常願寺川流域(有峰地域)自然環境調査報告」(富山市科学文化センター) 344pp.: 277-285.
湯浅純孝, 1994. *Rana* 属2種のカエル. グルーミング5(1): 98-101.

*富山市科学文化センター研究業績第189号